



知っておきたい環境キーワード ～新たな視点で一步先取り～

コースリレーテッドマーケティング

今回は、近年、消費者の環境や社会貢献に対して意識が高まっている中で、企業での取組が広まりつつある「コースリレーテッドマーケティング」について、紹介します。

コースリレーテッドマーケティング（CRM）とは、企業がコース（大義／社会的課題解決）を掲げて商品の売上の増加を目指すために、商品の売上の一部を社会貢献事業を行うNGO（非政府組織）、国連機関や行政機関などに寄付する、CSR活動と商品販売促進の両面を持ち合わせたマーケティングの手法です。最近では、企業のCRMを使った商品のテレビCMなども多く見かけるようになりました。

【メリット】

主に以下のようなことが考えられます。

企業・・・販売促進効果。社会貢献企業としてのイメージアップ。新しい顧客の獲得。

消費者・・・買い物することで、社会貢献をしているという満足感。

NGOなど・・・活動資金の獲得。活動の周知。

【事例】

○ダノンウォーターズオブジャパン株式会社

「1L for 10L（ワンリッター フォー テンリッター）」プログラムとして、ボルヴィック（ミネラルウォーター）の売り上げの一部で、ユニセフの活動を支援し、マリ共和国で飲料水を確保するための井戸づくり、及び10年間に渡るメンテナンスを行っています。2007年より消費者が1リットルを買う毎に、10リットルの水がマリ共和国の井戸から生まれる仕組みを作っています。2010年には、約4.5億リットルの水がマリ共和国に生まれるとのことでした。

○アサヒビール株式会社

「うまい！を明日へ！」プロジェクトとして、期間中の『アサヒスーパードライ』対象商品に「この商品1本につき1円が環境保全などに活用されます」と明記し、売上の一部を環境保護団体や自治体に寄付し、都道府県ごとに設定した自然や環境などの保護・保全活動に役立ててもらおう仕組みを作っています。群馬県へは、尾瀬の環境保全活動として、「財団法人尾瀬保護財団（大澤正明理事長）」へ2009年から計3回で、約1,472万円の寄付を行っています。

○王子ネピア株式会社

2008年より、毎年キャンペーン期間を定め、期間中のネピア対象商品の売上の一部で、ユニセフの活動を支援する「nepia 千のトイレプロジェクト」を開始。アジアの東ティモールに、毎年、1,000以上の家庭でのトイレづくりの支援、学校のトイレと給水設備の建設や修復、衛生習慣の定着活動を実施し、子どもとその家族の命と健康を守ることを目指しています。すでに1,800を超えるトイレが完成し、さらに600以上の新しいトイレの建設も予定されています。

以上は、CRMの設定を成功させ、商品の売上ののばしている企業が行っているCRMの主な事例です。

CRMは、CSR活動を背景に企業の社会的責任への関心が高まっており、また消費者の社会貢献への関心も高まっていることから、今後ますますの広がりが予想されます。

冬季の省エネルギー対策と国内

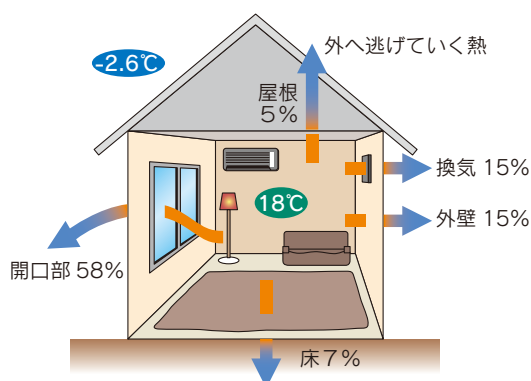
記録的猛暑の後は一転厳しい冬が予想されています。オフィスや工場での暖房・保温対策のポイントと国内クレジット制度の概要について紹介します。

冬季の省エネポイント

① 断熱対策の徹底

一般住宅の場合、冬の暖房時に戸外へ流失する熱の58%は窓からといわれています。ガラス及び窓枠の部分の伝熱によるもので、同時に結露を生じ、カビの発生など二次的な問題の原因ともなります。

■冬の暖房時の熱が
開口部から流失する割合 58%



(社) 日本建材・住宅設備産業協会ホームページより

1-1 断熱フィルム・テープの貼付

ガラス面に透明の断熱フィルムを貼付することで、日射は遮らずに断熱性を向上させることができます。また、シングルガラスのアルミサッシの場合、ガラス面と窓枠からの流失比率は6：4程度ですので、窓枠の断熱も重要です。市販の窓枠用断熱テープを貼付することで、この部分からの流失を抑えれば暖房効率が向上し、結露防止にもなります。

1-2 床面に断熱マット

コンクリートやリノリウム、Pタイルなどの場合、床面からの冷輻射によって足元が冷えることで体感温度が低下します。デスクや作業スペースの足元に断熱マットを敷くことで冷輻射を抑えられます。また、クッション性もあるので、立ち作業の場合、疲労を軽減する効果もあります。

②暖房の効率化

2-1 暖房気積の限定

天井の無い工場の場合、暖房気積が大きく、しかも暖気は上へ集まってしまうため、作業場所を暖めるためには電気ヒーターなどの局所暖房を併用するケースが多いようです。軽天井を設置すれば暖房気積が限定され、冷暖房ともに効率化されます。併せて、水銀灯から蛍光灯に変更して大幅な省エネを実現した事例がありますので、天井クレーン等の支障がなければ検討してみる価値はあります。

2-2 温度差の解消

天井付近と床面付近では暖房時に10℃前後の温度差が生じます。サーキュレーターや天井扇を使用すれば温度差を縮小して床面付近の作業環境を改善することができます。扇風機を上向きにかけるだけでも効果があります。ファンモーターの消費電力は数10Wですので、暖房エネルギーの削減効果の方がはるかに大きいので、ぜひ活用してください。

2-3 換気による熱流失防止

換気でも15%程度の熱流失がありますので、熱交換型換気扇の導入も有効です。また、執務時間中に頻繁に開閉されるドアやシャッターなどからは、その度に冷気と暖気が入れ替わってしまいますが、風除け室や二重シャッターを設置することでロスを減らせます。低コストで簡易なものもありますので、検討をお勧めします。

クレジット制度

③運用面の工夫

ウォームビズ、設定温度、フィルター清掃、運転時間調整等の運用面の工夫については、冷房時の工夫が暖房にも当てはまる部分が多いので、前号記事をご参照ください。

国内クレジット制度の概要

①国内クレジット制度の仕組みと意義

国内クレジット制度は、京都議定書目標達成計画（平成20年3月閣議決定）に基づく政府全体の取組で、大企業等から資金・技術等の提供を受けて中小企業等が行ったCO₂の排出削減事業による削減量を国内クレジット認証委員会が認証し、自主行動計画等の目標達成のために活用する制度です。

今年10月1日現在で承認されている35の排出削減方法論の中から、ボイラーや照明設備の更新等の具体的な方法論を選択し（新規方法論の提案も可能）、事業計画を作成し、承認を受けた上で実施し、排出削減量が認証されると、削減量に見合ったクレジットを大企業に売却できます。

②国内クレジット制度活用のメリット

事業計画の作成や申請については、国のソフト支援事業による無料支援や費用補助（上限50万円）が受けられます。また、設備の更新・新設等についてもハード支援事業による補助金が受けられます（ただし、今年度については多くが受付終了）。事業により獲得したクレジットについては、CO₂ 1トン当たり1000～2000円で売却できます。また、対象期間は京都議定書の第一約束期間である2008年4月～2012年3月までとなっており、過去に実施した事業も対象となる可能性があります。

③国内クレジット制度の申請・承認・認証状況

今年10月1日現在全国で518件の申請があり、378件が承認され、146件のクレジットが認証されています。群馬県内では申請12件、承認11件、認証5件となっています。群馬県は関東経済産業局管内の案件発掘支援の重点5地域の1つに選定されており、「群馬県国内クレジットネットワーク連絡会議」が発足し、制度の普及と案件発掘に向けて動き出しています。

省エネとCO₂削減でダブル効果を

省エネに取り組むことは、直接的には光熱費削減という経済効果をもたらしますが、国内クレジット制度を活用すれば、削減したCO₂がクレジット収入につながります。排出削減の可能性についても無料診断が受けられます。また、クレジット認証は地球温暖化対策への積極的な企業姿勢をPRすることにもなりますので、申請の可能性についてぜひ検討することをお勧めします。

作成者：環境GS推進員・省エネ普及指導員 片亀 光

参考URL 国内クレジット認証制度 <http://jcdm.jp/>

しげる工業株式会社



認定番号 200713
 住 所 太田市由良町330
 電話番号 0276-57-3511
 従業員数 660名
 事業内容 自動車機装関連部品の製造販売
 代表者 正田敦郎
 GSマネージャー 塚越昇
 サブマネージャー 田島眞治、江田辰人

わが社の一押し

1960年創業以来自動車内装品メーカーとして歴史を積み重ね、インパネ・シート・トリムパネルドアなど自動車内装品のすべてを取り扱っております。

当社では早くから地球環境の重要性を認識し、廃棄物・電力削減活動など環境改善活動を推進してきました。2000年にはISO14001の認証を取得。今後も環境改善活動に積極的に力を注ぐ所存です。

現場からひとこと

地球温暖化防止CO₂削減運動の一環として電力・廃棄物の削減をメインに環境改善対応PJをスタートしました。電力削減は、休み時間の消灯はもちろんの事、熱源の放熱防止で断熱材を巻いて対応しました。さらに成形サイクル短縮も合わせて実施しています。廃棄物低減はリサイクル化及び歩留まりを向上させさらに検討を進めています。

今後も地球温暖化防止に貢献したいと考えております。

ヘアサロンウチヤマ



認定番号 200795
 住 所 太田市熊野町34-2
 電話番号 0276-22-6739
 従業員数 3名
 事業内容 理容業
 代表者 内山晃甫
 GSマネージャー 内山晃甫

わが社の一押し

仕事柄エアコンを使用する期間が長い為、昨年店舗を改装した際に今まで使っていたエアコンを新しくするとともに、壁面内部や天井部の断熱材も効果の高いものを選びました。

出入り口のドアや窓も2重ガラスにして保温性、断熱効果を高めています。

店舗内照明等もLED照明を取り入れ、消費電力削減にも取り組んでいます。

現場からひとこと

やはり以前の店舗に比べてかなりエアコンの効きが良くなったと感じています。それに伴って温度設定もエコ温度に近付けているかなと思っています。

大きなことはなかなかできませんが、できることから、小さいことからコツコツと意識していきたいと思います。

株式会社オウギ工設



認定番号 200810
 住 所 前橋市上泉町268
 電話番号 027-233-0561
 従業員数 40名
 事業内容 建設コンサルタント
 代表者 霜触和也
 GSマネージャー 白石清光
 サブマネージャー 佐藤孝史、根岸智和

わが社の一押し

測量設計の会社として創業し、官公庁を中心に39年の業務実績があります。測量や補償・地質調査、道路・橋梁・公園・上下水道などの計画と設計業務を行ってきました。

公共事業が減少する昨今において、最近増加している環境関係のニーズにこたえるために環境保全計画や温暖化対策の策定、さらに環境経営のコンサルティングも行っています。特に、最近認証・登録の増加が著しいエコアクション21のコンサルティングと審査に力を入れています。

現場からひとこと

業務から発生するCO₂の60%が燃料、40%が電気によるものです。このためエコドライブの実践と節電を行い、2年前よりもCO₂発生量が2割ほど削減できました。また今年からグリーンカーテンも実施しています。

豊田産業株式会社



認定番号 200820
住 所 桐生市相生町3-800-3
電話番号 0277-52-8811
従業員数 60名
事業内容 総合事務機器メーカー
代 表 者 山口正夫
GSマネージャー 國定正彦
サブマネージャー 大川紀子

わが社の一押し

当社は1945年の創業以来先進的な事務用機器メーカーとして企画・開発・製造を行っております。1997年に品質ISO9001を認証取得した後、2000年に環境ISO14001の認証を取得し、環境スローガン「私たちは地球環境に優しい企業（ヒト）に進化し続けます。」を合言葉に全社を挙げてゼロエミッションや環境対策商品の開発等を行って来ました。今後もCSRを意識し、お客様に喜んでいただける会社を目指してまいります。

現場からひとこと

職場改善による作業性とエネルギー効率の向上や各サイトの省エネ活動の具体的な数値をパフォーマンスデータとして全社員に周知しています。又、職場環境の美化・保全の一環として毎朝社員が自主的に構内樹木の手入れを実施すると共に、渡良瀬川クリーン運動にも第1回から16年間連続して参加しています。

高山林業株式会社



認定番号 210831
住 所 中之条町下沢渡1230-3
電話番号 0279-66-2540
従業員数 25名
事業内容 林業、建設業
代 表 者 高山光男
GSマネージャー 高山幸典
サブマネージャー 高山聡、井上忠雄

わが社の一押し

自然豊かな中之条町で創業以来、林業・土木業を主として営んできました。近年は地球温暖化防止対策として、荒れた森林を再生するため、植付・下刈・間伐等に力を入れています。

これからも地域貢献企業として、社員一人一人が自覚を持ち、環境愛護に努めていきたいと思っています。

現場からひとこと

環境GSに参加して2年目になります。

社内では、電気をこまめに消したり、誤印刷用紙の裏面活用等、小さなことから取り組んでいます。

現場では、森林整備や産業廃棄物の適正処理等、環境保全と地球温暖化防止活動を続けていきたいと思っております。

吉田紙器工業株式会社



認定番号 210839
住 所 邑楽町大字赤堀字鞍掛4119-3
電話番号 0276-70-2811
従業員数 28名
事業内容 段ボール製品の製造販売・梱包資材の販売
代 表 者 吉田修
GSマネージャー 金子裕之
サブマネージャー 吉田益美

わが社の一押し

段ボールは環境に優しい梱包材。製品～古紙～製紙～製品・・・。とりサイクル体制が確立されており。そんな製品の製造販売を行っている弊社は環境問題にも真剣に取り組んでおり、環境GS、エコアクション21などによる活動で一步一步成果を上げております。特に電気使用量をデマンド管理するようになってから大幅削減することができました。今後も太陽光発電やLED照明等、具体的な目標に向かい環境を考慮しながら社員全員で取り組んでいきます。

現場からひとこと

デマンド管理導入当初は、警報音がなると業務の女性たちが社内を走りまわって電気を消していましたが、現在は各部署で消すポイントがわかるようになり慌てることなく使用量を管理しています。さらに使用量を削減し、購入電力ゼロを夢に見ながら頑張っていきたいと思っております。

ワンポイント アドバイス ONE POINT ADVISE

環境GS
推進員



今回は、
しぎはら
嶋原道雄さん
からのアドバイスです。

環境経営のすすめ ～プラスの環境側面から環境改善を～

■ トリプル・ボトムライン

経済と社会は長期的には、健全な自然環境の中でしか存在できません。限りある自然の中で暮らしながら、人々の生活を充足させることが持続可能性の主目的となります。

■ エコロジカル・フットプリント

地球1コ分の暮らしへ 1999年段階で既に1.2個の地球を使用し、地球の生物学的限界を20%オーバーショートしています。

■ 環境経営とは

社会に存在し続けるには、継続的改善によって、環境リスクを回避し、マイナスの環境側面からスタートし、**プラスの環境側面**につなげ利益を確保し続けることです。

■ PDCAはCからスタート ～本来業務から見直す～

まずは組織の現状分析 本来業務の実態状況を把握します。(確認 C : Check)

- ① 組織の実態に合せた、環境目標を設定します。(計画 P : Plan)
- ② 環境目標を達成できる組織体制を整備し取り組みます。(実施 D : Do)
- ③ 運用状況と目標達成の状況を把握し、評価します。(確認・評価 C : Check)
- ④ 改善し、定期的に仕組みを見直します。(見直し A : Action)

PDCAサイクルを基本に5W1Hにより、環境経営システムの取組みを継続的に改善し廻し続けます。

■ 環境ロスの把握とプラスの環境側面の捉え方

ハード面(有形)：仕入れ材料、仕入れ部品・商品、製品、仕掛品、廃棄物、潤滑油、設備、建物、情報機器、車両、など。

ソフト面(無形)：設計・開発、生産性、不良率、直行率、顧客クレーム、設備稼働率、在庫量、廃棄量、電気・ガス・燃料・水道使用量、生産管理システムなど。

■ プラスの環境側面事例

- ・ 過剰生産防止、歩留まり向上、生産の効率化、不良発生率の低減、輸送効率の向上(空荷防止)、設備の事前アセスメント、車種選定、グリーン調達、パレット通い箱化
- ・ 省エネ設計、MSDSの入手、法規制の動向把握、リサイクルショップ部門の開設
- ・ 給水配管からの漏水検知と修理、トリハロメタンの少ない水の供給・促進、適正水圧の維持、塩素殺菌使用量の削減、長寿命木製家具の製造販売促進
- ・ 廃エンジンオイルの回収、再生、廃タイヤをセメント工場の燃料として有価物化
- ・ 売れ残り食品・傷物食品肥料化、生ゴミコンポスト化、雨水、風呂水排水の再利用→散水、植木へ散水、食材の地産地消の促進、防腐剤を使用しないパンの取り扱い、
- ・ 梱包簡略化による梱包包装材の削減、ダンボールの再生有価物化、
- ・ 降雪、雨水利用、廃棄物削減・分別回収、無洗米使用による節水と水質汚濁軽減、
- ・ 省エネにつながる輸送計画の立案、実施、電子伝票の導入などがあげられます。

群馬県地球温暖化防止活動推進センター (NPO法人 地球温暖化防止ぐんま県民会議)のお知らせ

環境GS推進員の派遣

環境GS認定事業者やこれから認定を受けようとする事業者に対し、環境GS推進員を派遣して助言や支援を行います。

派遣内容

- ①事業所での省エネの進め方や省エネ情報を知りたい
- ②環境GS認定を受けているが成果が上がらない
- ③環境GS制度の概要を聞きたい
- ④環境GS認定の手順や申請書の書き方がわからない
- ⑤現状把握や目標設定方法、指標の算定方法がわからない

派遣方法

- ①派遣依頼「環境GS推進員派遣申請書」提出
 - ・電話・メール・FAXでお申し込み下さい。
 - ・GSホームページで申請書をダウンロードできます。
- ②推進員を地区、相談内容に応じてセンターで選定
 - ・環境GS認定制度ホームページ、群馬県ホームページでGS推進員一覧をご覧頂けます。
- ③日程調整・推進員より事業者に日程調整の連絡をします。
- ④派遣実施・派遣時間1～2時間程度です。

まずは派遣のご連絡をください。『環境GS認定制度ホームページ』<http://www.gccca.jp/gs/>

平成22年度環境省補助事業地域活動支援事業

うちエコ診断

家庭ではどこからどれだけ二酸化炭素(CO₂)が出ているのでしょうか？

今年度、センターでは家庭の省エネを診断する『うちエコ診断事業』を行います。センターで養成、認定した14名の診断員が専用のパソコンソフトを使って、対象家庭からのアンケートを入力し、家庭のCO₂排出状況の診断を行います。その結果を踏まえて、CO₂を減らすための対策を提案いたします。

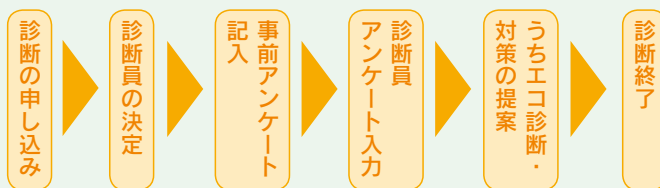
現在「うちエコ診断」を希望する家庭を募集しています。

GS認定事業者の皆様も環境活動の一環として、従業員の方の「うちエコ診断」を取り入れてみてはいかがでしょうか。

家庭での診断の他にも、ご依頼があれば事業所まで出向き会議室等での診断も出来ますのでご検討下さい。

※企業の環境の取組みとしてCSR及び環境報告書等への報告にご活用いただけます。

うちエコ診断の流れ



ツール貸出

企業の環境イベント、社員教育等に温暖化防止に関するパネル、DVD、発電自転車の貸し出し、資料の提供を行っています。

希望される方はセンターまでご連絡ください。

会員募集

特定非営利活動法人地球温暖化防止ぐんま県民会議では会員を募集しています。

温暖化防止に取り組む組織として、皆様のご支援により支えられています。

ご参加ご支援をよろしくお願いいたします。

区分	正会員	賛助会員
個人年会費	2,000円	一口 2,000円
団体年会費	10,000円	一口 10,000円

問い合わせ

群馬県地球温暖化防止活動推進センター ホームページ <http://www.gccca.jp/>

TEL 027-237-1103 FAX 027-232-1104



「環境GS地域推進員」を認定

群馬県環境GS認定制度のさらなる普及推進を通して県内事業者における地球温暖化対策の推進を図るため、環境GS認定制度の周知・普及推進活動を行う環境GS地域推進員制度を創設しました。

県内行政機関、商工団体等に在籍する経営指導員等で、環境GS認定制度及び、事業者における省エネ・地球温暖化防止推進に係る知識を有する者で、かつ環境GS地域推進員を希望する者がある場合は、その所属する団体は、県にその者を推薦し、県は、当該推薦を受けた者について、環境GS地域推進員として適すると認めた場合に、「環境GS地域推進員」として認定するといったものです。

環境GS地域推進員の活動は、環境GS認定制度および、省エネについての周知・普及推進に係ることとし、原則的に事業者に対する経営指導時など、適宜本来業務に支障のない範囲において、任意で行うものとしています。

今回、群馬県商工会連合会の環境情報研修を受講した県内の各商工会の経営指導員81名を「環境GS地域推進員」として認定しました。今後、経営指導の中で、環境GS認定制度について説明をしていただき、普及推進を図っていただけることになっています。



「国内クレジット制度」を活用しましょう

県と関東経済産業局は、県内商工団体・設備事業者・金融機関等のご協力を得て、本年8月「国内クレジットネットワーク連絡会議」を設立しました。

この連絡会議では、国内クレジット制度についての周知・普及のほか、国内クレジットに繋がる案件の発掘等を行うこととしており、10月24日には、「国内クレジット制度普及啓発セミナー」を開催しました。

「国内クレジット」申請の課題とされる、申請書類作成・申請手数料については、国から委託された「ソフト支援事業者」の全面的な作成支援・手数料補助が受けられる体制ができています。

また、制度普及の関連支援策として、日本政策金融公庫による制度融資があり、最大7億2千万円（うち長期運転資金2億5千万円）まで低利融資を利用することができます。

そのほか、「ソフト支援事業者」のサポートの中で、NEDOのほか、国土交通省、環境省等の各補助金の情報を得ることもできます。

「国内クレジット制度」は「地球温暖化対策」として位置づけられてはいますが、これら支援制度の活用次第では、「設備資金調達手法の一つ」としての側面もあると言えます。

これから省エネ改修をご検討される場合はもちろん、2008年4月以降に着手・実施された事業についてもクレジット申請は可能です。

ご興味・ご質問がある場合には、県庁環境政策課温暖化対策室までお問い合わせ下さい。